

<会場30名・Zoom50名>ハイブリッド開催



シンポジウム開催のご案内

SYMPOSIUM INFORMATION

5/26 (木)

14:00~16:00(13:30 開場)

ほくとう総研創立 30 周年記念事業 拡大地域経営研究会

地域資源活用事業化イノベーションと成長戦略

北海道東北地域経済総合研究所(略称:ほくとう総研)は、2022年4月に創立30周年を迎えました。これを記念して、東北大学大学院経済学研究科地域イノベーション研究センターとの共催で、地域資源を活用したビジネスの成功要因(イノベーション・成長戦略)と課題、これを支える地域のエコシステム等について討議するシンポジウムを開催します。

PROGRAM

1. ご挨拶(ほくとう総研 理事長 伊藤 敬幹)

「地域経営」の目標は、地域資源を活用し地域の外から稼ぐ力を高めるとともに、地域内での経済循環を高め地域に富を蓄積することであり、それをいかに実践するかが地域の活性化にとって重要です。

「ほくとう総研」は1992年の設立以来、北海道・東北地域の自立的かつ持続的発展のための「地域づくり」に寄与してまいりました。今後も新しいサステナブルな社会共創へ向けて皆様とともに歩みます。

<略歴>1980年北海道東北開発公庫入庫。2005年日本政策投資銀行事業再生部長、企業ファイナンス部長、情報通信部長、東北支店長などを経て、2010年仙台市副市長、2018年ほくとう総研理事長(現職)



2. 基調講演(東北大学大学院経済学研究科 地域イノベーション研究センター長 藤本 雅彦)

地域資源活用事業のカギとなるイノベーションと成長戦略、事業を支えるエコシステムについて講演します。

<講師>東北大学大学院経済学研究科教授 地域イノベーション研究センター長 藤本 雅彦

<講師略歴>1959年、北海道生まれ。株式会社リクルートおよびITベンチャー企業での勤務を経て、2004年より東北大学大学院経済学研究科にて研究・教育に従事。専門は経営組織論および人材マネジメント論。2011年度より地域イノベーション研究センター長を兼務し、中小企業の経営者を対象にした「地域イノベーションプロデューサー塾」にて、これまでに280社程の中小企業の事業イノベーションを支援。



3. パネルディスカッション

両社の事業開始のきっかけや志、成長ドライバー、またそれを支えるイノベティブな仕組みについて討議します。

<討議者>東北大学大学院経済学研究科教授 地域イノベーション研究センター長 藤本 雅彦

<討議者>株式会社ワイヤードビーンズ 代表取締役 三輪 寛 氏

<略歴>「東北から世界で戦えるIT事業の構築」をコンセプトに掲げ2009年に㈱ワイヤードビーンズを設立。

日本の職人、伝統を、ITを軸とした仕組みで復興させることを掲げている。

近年は地域企業を支援していくDX推進の担い手としても事業領域を拡大。地域経済の発展をリードする。

Salesforce 東日本ユーザー会 Innovation Partner of the Year 2021を受賞。

ものづくり事業では当社製品「生涯を添い遂げるグラス、マグ」などで、グッドデザイン賞やドイツの

Reddot 賞など国内外多数の受賞歴を誇る。



<討議者>株式会社仙台買取館 代表取締役/株式会社サムライアロハ 代表取締役 櫻井 鉄矢 氏

<略歴>明治大学経営学部会計学科卒業後、株式会社大黒屋入社。

2009年 新宿西口店店長を経て大黒屋フランチャイズ事業課課長就任。

2011年 東日本大震災で実家が被災し、大黒屋から独立する形で退職し、株式会社仙台買取館を設立。代表に就任。

大黒屋仙台クリスロード店、2013年 大黒屋仙台一番町店を設立。

2014年 風評被害を受けた会社10社と合同会社未来フードデザイン設立、代表に就任。

2015年 大黒屋南仙台店を設立。2018年 株式会社サムライアロハ設立。代表に就任。



会場	定員	参加費	主催: (一財) 北海道東北地域経済総合研究所 (略称:ほくとう総研) 共催: 東北大学大学院経済学研究科 地域イノベーション研究センター 協力: (株)日本政策投資銀行 後援: (一社) 東北経済連合会 (公財) 東北活性化研究センター
東北大学大学院経済学研究科 地域イノベーション研究センター (東北大学 片平キャンパス エクステンション教育研究棟 (007) 6 階)	・ 会場 30名 ・ ZOOM 50名 (いずれも先着順、新型コロナ感染状況により全面オンライン実施の可能性あり)	無料	

◆会場案内図



1. 参加ご希望の方は E-MAIL または FAX でお申し込みください。

<E-MAIL による申込>

弊財団メールアドレス info-nett@nett.or.jp に、件名を「シンポジウム参加申込」とし、下記参加申込書記載事項を明記の上、送信ください。

(注)会場参加の方も、お知らせや事前資料配布のため、参加者様全員の E-mail アドレスの記載をお願いします。

<FAXによる申込>

下記の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、参加申込み先の番号に FAX をお送りください。

※ご連絡担当者様、受講者様全員の E-mail アドレスを必ずご記入ください。

2. キャンセルにつきましては、シンポジウム開催日の2日前(5月24日)の17時までにお申し出くださいますようお願い申し上げます。

《会場》〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2丁目 1-1 片平キャンパス エクステンション教育研究棟(C07)6階
 東北大学大学院経済学研究科 地域イノベーション研究センター

<お問合せ先>

○ 一般財団法人 北海道東北地域経済総合研究所
 (略称:ほくとう総研)

TEL :03-3510-6821(代表) FAX:03-3510-6825

E-mail:info-nett@nett.or.jp

URL :<http://www.nett.or.jp>

○ 東北大学大学院経済学研究科
 地域イノベーション研究センター

TEL :022-217-6265 FAX:022-217-6266

E-mail :rirc@grp.tohoku.ac.jp

URL :<https://rirc.econ.tohoku.ac.jp/>

シンポジウム参加申込<info-nett@nett.or.jp>

または <FAX:03-3510-6825>

5/26(木)14:00~16:00 シンポジウム参加申込書

ほくとう総研創立 30 周年記念事業 拡大地域経営研究会「地域資源活用事業化イノベーションと成長戦略」

所属団体名 (法人名等)			
住所	〒 _____		
	電話 :	(_____) _____	、FAX : (_____) _____
	E-mail :	_____ @ _____	
	(※E-mail アドレスはご案内等の送信に必要となりますので必ずご記入ください)		
お申込み ご担当者	部署・お役職名 (_____)		
参加者名 (フルネーム・ 楷書にてご記入 ください)	フリガナ _____	参加方法	会場・オンライン(○印)
		オンライン参加用 メールアドレス	@ _____
	フリガナ _____	参加方法	会場・オンライン(○印)
		オンライン参加用 メールアドレス	@ _____
	フリガナ _____	参加方法	会場・オンライン(○印)
		オンライン参加用 メールアドレス	@ _____

【注意事項】※お申込みは先着順とさせていただきます。なお、定員に達した場合には、お断りさせていただく場合もございます。新型コロナウイルスの感染状況に応じて、全面的にオンライン(ZOOM)にて開催させて頂くこととなった場合は、弊財団 HP にて告知するとともに、ご登録頂いたメールアドレス宛にご連絡申し上げます。
 ※東北大学の新型コロナウイルス感染症予防ガイドラインに基づき、開催当日に発熱のある方、体調不良(味覚・嗅覚障害、呼吸困難、咳、咽頭痛など新型コロナウイルス感染を疑う症状)の方、新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触者等の方は、来場をご遠慮頂きますようお願い申し上げます。
 ※ご記入いただいた個人情報は、シンポジウムにかかる事務処理のほか、主催者間で共有させていただく場合がございますので予めご了承ください。
 なお、個人情報保護法ならびに個人情報保護方針に沿って厳重に管理いたします。個人情報の取扱いについての詳細は、弊財団ホームページ(<http://www.nett.or.jp>)をご覧ください。